

学社連携・融合による 教育活動の推進

コーディネーター通信

第4号



掛合中学校 但馬裕朗 掛合中学校 但馬裕朗

大東町出身の私としては、掛合地域に赴任以来、新しい出会いの連続で常に新鮮な気持ちで仕事ができることに感謝しています。学校教育現場だけでなく社会教育現場でも、より多くの方との出会いと交流を求めて活動しています。

さて、掛合小・多根小・掛合中の三校は、昨年度より文部科学省から「確かな学力育成のための実践研究事業」の指定を受けています。先生方は基礎・基本を重視し、一人ひとりにきめ細かな支援を行うために、日々様々な工夫をされています。しかし、学力を向上させるためには、その基盤づくりとして子どもの基本的な生活習慣の改善が必要となります。

私は、子どもたちの生活実態や環境を知るにつけ、まさに「子どもの生活リズムの向上」に関する支援こそが自分に課せられた仕事であると感じました。具体的には「雲南子ども朝から元気プロジェクト」の一つとして生活実態調査の分析や公民館を中心とした通学合宿への企画、生活リズム向上啓発パンフレットの作成などに取り組んでいるところです。

私が学校現場で最も重要であると感じたのは、

子どもとコミュニケーションを図るということでした。それを痛感したのは、駅伝競走大会に出場する選手を指導する立場になってからです。基礎体力づくりや技術の指導は社会体育でも経験はありましたが、振り返ってみると本当の意味で子どもが分かっていなかったように思います。学校現場に入り、ようやくそのことが分かりました。選手同士、あるいは指導者との意思疎通を図るためには、理解し合うことがいかに重要であるかを肌で感じました。そして、信頼関係を築くためには相手の気持ちをじっくりと聴くことと思いやりの心を持つことが最も大切であるということも知りました。掛合の子どものために何が出来るのかを考えた時、「駅伝」というスポーツを通して支援することも一つの役割だと感じています。今後も、子どもたちが「ふるさと」の良き伝統を受け継ぎつつ地域に新たな歴史を刻んでいくことができるよう活動支援に努めていきます。

子どもたちの活躍が地域の喜びと活力につながれば幸いです。



わが家のホープ

11月で満1歳おめでとう



宇田川泰行さん・千恵さんのお子さん

しま 詩真くん(木次町里方)
平成17年11月11日生まれ
「結婚記念日に生まれた我が家の可愛い可愛い詩真くんです。1歳おめでとう☆」



石川和徳さん・恵さんのお子さん

ま お 真帆ちゃん(大東町大東)
平成17年11月3日生まれ
「ちょっぴり人見知りなわが家のお姫様☆あなたの笑顔には癒されます。お誕生日おめでとう☆」

12月で満1歳(平成17年12月生まれ)

なるお子さんを募集!

写真にコメント(40字程度)を添え、郵送またはメールで11月6日(月)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-140-11015

E-Mail: yourhouse@city.yamanashi.jp

※市ホームページの中での市報「なごみ」に掲載します。

掛合町発

わがまちの

たく

巧み

この「ナナ」では、地域に根付いている伝統工芸や地域ならではの活動をされているみなさんを紹介していきます。

農村歌舞伎

松笠素人芝居

松笠地区で古くから伝わる伝統芸能「農村歌舞伎」を受け継ぐ「松笠みこし奉賛会」の素人芝居部「のみなさん」。今月は、部長を務められている片石喜己さんを紹介いたします。



松笠素人芝居

松笠地区の秋祭り(松笠上下両天満宮例大祭)で、2年に1度上演される素人芝居は、昭和の初め頃から、地域の私たちの手によって継承されてきました。

もともと、この芝居のルーツ(起源)は、松笠地区に隣接し、古くは飯石郡須佐村でもあった現在の出雲市佐田町にあります。

松笠素人芝居は、佐田町で活躍する出雲國佐田歌舞伎「むらくも座」の協力・支援を受けながら、地域芸能として定着しました。

そして、松笠地域の神輿や囃子、獅子舞、芝居の保存・継承活動をされている「松笠みこし奉賛会(高尾良友会長)」の素人芝居部メンバーらによって演じられています。

現在、出演者らは、佐田町在住で農村歌舞伎の第一人者である田部繁敏さんや、むらくも座の渡部良治座長からの演技指導を受けながら、11月の公演に向け稽古に励んでいます。

農村歌舞伎の魅力

農村歌舞伎の特徴は、歌舞伎のもつ迫力や華やかさに加え、身近な出演者による親し

みのある舞台にもあります。

昔ながらの芝居小屋を再現した松笠の歌舞伎は、酒を飲んだり、食事をしたりしながら、時には観客からのやじや掛け声の飛び中で、客席と舞台が一体となり上演されます。

芝居部長の片石さんも出演者の一人。「芝居を知っている人たちの中の演技は緊張します。物語に合わせた台詞の抑揚や体の動き、顔の表情など細部に気を配りながら稽古に励んでいます」と話されました。

今年の演目

今年の松笠素人芝居は11月



2日(木)午後7時から松笠小学校体育館で上演され、その舞台は前狂言・中狂言・切狂言で構成されています。

まずは、登場人物が多く、その表現が難しいとされている「人情断文七元結」にはじまり、「盗賊自来也」から、「華やかな立ち回りの仇討断」引抜き六法段回りへと続きます。

松笠に息づく日本の心「松笠素人芝居」。片石さんは「これからも、ここにしかない芸能を地域全体で大切に守り続けていきたい。そして、いつか市内各地での公演もしてみたい」と抱負を語ってくれました。

